

# わかもとが独占販売権

眼科手術用  
染色剤候補  
九大発V Bから

九州大発バイオベンチ 売権を中堅製薬会社のわ 占的に供給する。  
ヤーのアキユメンバイオ かもと製薬に譲渡した。 BBG250は網膜の  
フアーマ(福岡市、鍵本 近々共同で臨床試験(治 中心部にある「黄斑」を  
忠尚社長)は、開発した 験)を開始し、2012 覆う透明な薄い膜「内境  
「BBG250」を主成 年末にも承認申請の見込 界膜」を、手術の際、青  
分とする眼科手術用染色 み。承認後はアキユメン 染める注射剤。黄斑に  
剤候補の日本での独占販 製造し、わかもとに独 浮腫が起こった場合など

に内境界膜を取り除く手術をするが、他の部位を傷つけずに除去することや、膜が正しく除去できたかの確認が難しい。

内境界膜を染めると膜の見分けが容易になり、比較的経験が浅い医師でも手術ミスを起こしにくくなる。日本にはこの用途で承認された医薬品がまだないという。BBG250が承認されると、適応手術は国内年3万件程度、売上高は年3億円程度になると、わかもとはみている。

わかもとは医療用眼科用剤の開発に力をいれている。BBG250を加えることで強化する。

アキユメンは、九大卒 掲げる。BBG250の を譲渡した。  
の眼科医である鍵本社長 用途特許の使用権を九大 ドルクは昨年9月に、  
が同大学院在籍時代の から得て、オランダの眼 欧州で製造販売承認を獲  
2005年に設立した。 科手術用医薬品・医療機 得して発売した。今年末  
同大医学部眼科で開発し 器大手ドルクに日本を除 には、米国で臨床試験開  
た技術の実用化を目標に 全世界の開発・販売権 始を申請する見込み。